

WELCOME TO OJAI R30

Ojai R30は、小型で軽量ながら、高い技術に裏打ちされたクラス最高のハイ・パワーサプライ・ユニットです。本機はクリーンで安定した9V、12V、18Vの電源をエフェクターへ供給でき、そのデザインは軽量で拡張性に優れています。また、2ステージのネットワークを採用し、プリ安定化出力、オプトカプラー・アイソレート回路、マルチステージ・フィルタリングによって、供給電源はエフェクターの最大ダイナミックレンジを引き出します。

超低ノイズ

Ojai R30のアナログ回路は、2段階の分離回路を採用しています。また、5つの出力端子は24V DC入力電源からもそれぞれが分離されており、その24V DC電源はAC入力電源からも分離されています。この方式の採用で、AC電源のノイズやグラウンド・ループによるノイズからの影響を排除します。また、デュアル・レギュレーション（2段階の安定化回路）が採用されており、各チャンネルでは高周波域のオプト回路による入出力の分離が、出力負荷にも影響されない安定した出力をお約束します。

ワールドツアーにも対応

電源は各国によって異なるため、他の国でプレイする度に電源ユニットを用意する必要があります。しかし、Ojaiの電源入力部は100~240VACに対応しているため、世界中のどこでも使用することが可能です（適切なIECケーブルが必要です）。たとえば会場の電源がクリーンでなくても、クリーンで安定した電源をエフェクターに供給することができます。

スタートガイド



OJAI R30の拡張性

ペダルボードが大きくなったら、24V THRU 端子を使用して Ojai を複数リンク接続し、DC 出力を増設することができます。

24V電源アダプター（PS-124）は最大24Wの電源が出力できます。この容量は最大7台のOjaiへの電源供給を可能にします。低消費電力のエフェクターであれば、35台程度の電源供給が可能ですが、安定した動作のためにOjaiの接続は2~3台に止め、10~15台の低/高消費電力のエフェクター・セットアップをお勧めします。



Ojaiのリンク方法

1. 24V電源アダプターと1台目のOjaiを接続します。
2. 付属のEIAJ-05ケーブルを1台目のOjaiの24V THRU端子に接続します。
3. EIAJ-05ケーブルのもう一方を、2台目のOjaiの24V IN端子に接続します。

同梱品

- ・ Ojai本体
- ・ 24V電源アダプター（PS-124）（エクステンションには付属しません）
- ・ IEC AC電源ケーブル（エクステンションには付属しません）
- ・ EIAJ-05電源ケーブル（Ojai~PS-124間用）
- ・ ペダルケーブル（45.72cm長、5.5mm×2.1mm/L-L端子） x 5本
- ・ #4（3/8"）マウント用ネジ x 2本
- ・ マウント用テンプレートシート

スペック

- ・ 本体サイズ: 130mm (幅) x 58mm (縦) x 29mm (高) ※突起部含む
- ・ 本体重量: 171g
- ・ 電源アダプター（PS-124）サイズ: 107mm (幅) x 55mm (縦) x 32mm (高) ※突起部含む
- ・ 電源アダプター（PS-124）重量: 133g
- ・ Ojai入力: 24V DC、センター「プラス」
- ・ Ojai出力:
 - ・ 9V DC(500mA)、センター「マイナス」 x 3口
 - ・ 9V DC(500mA) / 12V DC(375mA) / 18V DC(250mA)、センター「マイナス」 x 2口
- ・ PS-124入力: 100-240V AC 50/60Hz
- ・ PS-124出力: 24V DC、1000mA、最大24W、センター「プラス」

エフェクターを接続する

ペダル出力:

付属の5.5mm X 2.1mmケーブルを使用して、9V仕様のエフェクターと接続します。デュアル・アイソレート設計の低ノイズ出力を実現しました。

9V出力:

3系統から9V/500mA(センター「マイナス」)が、各出力から得られます。

9V、12V、18V切り替え出力:

2系統の出力は、9V、12V、18Vの電圧を切り替えることができます。9Vで500mA、12Vでは375mA、18Vでは250mAが最大電流容量になります。

LEDインジケーター:

各出力のLEDインジケーターは、エフェクターに接続されるとLEDが緑色に点灯します。ペダルとの接続が外された時と、最大許容量を超えた場合にはこのLEDが消灯します。

Ojai R30は、strymonを含むほとんどのエフェクターへの電源供給が可能です。

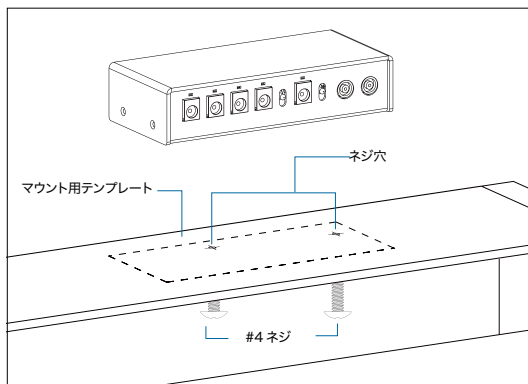
中には特殊な仕様の物も存在します。使用する前に接続する機器の取扱説明書を読み、ボルテージ(電圧)やカレント(電流)、プラグ極性を確認してください。

500mA以上の電流や高い電圧が必要な場合は、サポートページを一度ご参照ください。



OJAI R30 マウント手順

ペダルボードにドリルでネジ穴を開けることで、Ojai R30をボードに直接マウントできます。同梱されているマウント用テンプレートを使用し、下記の手順に従ってネジ穴を開けてください。テンプレートは、strymon.net/support/ojai-r30 からダウンロード可能です。



1 取り付け位置を決めます

マウント用テンプレートを、ロゴ面を上にして取り付けたい位置に貼り付けます。

この図はボードの上面に取り付ける場合を表しています。ボードの底面に取り付ける場合、ボードを逆さまにして同様の方法で取り付けてください。

2 ネジ穴を開ける

ドリルを使用してネジ穴を開けます。ビットは1/8" (3mm) を使用してください。

3 Ojai R30を取り付ける

穴に合わせてR30を設置し、ボードの裏側から同梱されているネジ(#4、3/8")を使用して固定します。

株式会社HotoneJapan

一般のお問い合わせ: ホームページ内の「お問い合わせ」ページよりご連絡ください。
商品の修理について: ホームページ内の「修理について」ページよりご連絡ください。